

七ヶ浜グローバルPROJECT

～世界を見据えて、地域に根差す～

宮城県七ヶ浜町立小学校
英語コミュニケーション科
児童・保護者調査結果 報告書

令和6年3月

七ヶ浜町立 亦楽小学校

松ヶ浜小学校

汐見小学校

I 児童調査

調査の目的

この調査は、英語をツールとして用いるコミュニケーション力（英語を通して自分の頭で考え、自分の言葉で意見や考えを伝え合うことができる力）を育成することに臨み、英語コミュニケーション科の授業を「明るく楽しく面白い」の切り口で創り、「英語嫌いの児童を出さない」観点から振り返るとともに、①授業の精度を上げること②中学校英語科への土台を作ることに資するためのものです。

設問1 英語コミュニケーションの授業は楽しいですか。

《低学年》

校名	年度	とても楽しい	楽しい	少しだけ楽しい	楽しくない
亦楽小	令3	64%	25%	11%	0%
		89%		11%	
	令4	58%	22%	10%	10%
		80%		20%	
	令5	48%	42%	9%	1%
		90%		10%	
3年間平均		86%		14%	
松ヶ浜小	令3	79%	14%	7%	0%
		93%		7%	
	令4	71%	21%	5%	3%
		92%		8%	
	令5	72%	10%	2%	16%
		82%		18%	
3年間平均		89%		11%	
汐見小	令3	67%	29%	2%	2%
		96%		4%	
	令4	64%	28%	7%	1%
		92%		8%	
	令5	62%	32%	6%	0%
		94%		6%	
3年間平均		94%		6%	

【踏み込んだ聞き取り，記述による回答】

[楽しい理由]

- ・いろいろな英語を覚えられるから。 ・英語のゲームや歌が楽しいから。
- ・ALT の先生や友達と英語で話すのが楽しいから。
- ・アメリカのハロウィンやクリスマスのことを初めて知って面白かったから。
- ・楽しいゲームがあるから。 ・楽しい歌があるから
- ・いろいろなものの英語の言い方が分かるから。
- ・覚えた英語を使って話すのが面白いから。
- ・覚えた英語でいろんなことができるのが楽しい。
- ・クリスマスの歌を歌うのがたのしい。 ・ハロウィンのことが分かった。
- ・英語をどんどんしゃべれるようになるのが楽しい。
- ・みんなの好きなものが分かってうれしい。
- ・英語を覚えるのが楽しい。 ・難しい英語を言えるようになるから楽しい。
- ・将来アメリカに行ったときに役に立つと思うからうれしい。
- ・ゲームで英語を覚えられる。
- ・ブラブ先生や友達といろいろなことをするのが楽しいです。
- ・ブラブ先生がおもしろい，やさしい。授業が分かりやすい。
- ・パフェづくりが楽しかった。
- ・英語が上手になったら外国の人とお話ししてみたい。メジャーリーグに行つて，大谷より強い選手になりたい。
- ・友達や先生にインタビューするのが好きだから。インタビューできたから。
- ・こんなに楽しい勉強をしたことがないから。 ・英語に興味があるから。
- ・クリスマスのことを英語で言えるようになったから。
- ・自分が欲しいものや食べたものを伝えるのが楽しい。
- ・数字や果物などの英語の言い方を覚えるのが楽しい。
- ・お店屋さんごっこを英語でできた。
- ・「♪Head Shoulder Knee…」や数字の歌とダンスが楽しかった。

[楽しくない理由]

- ・英語を言うのが嫌だから。 ・面倒だから。 ・一人になるのが嫌。
- ・喋れない，覚えられない，分からない。

【低学年のまとめ】

低学年では「楽しい」と回答している児童が3年間で徐々に増えており，今年度は94%という高率を示している。「とても楽しい」と答えている児童が「楽しい」と答えている児童の割合を常に上回っているのも低学年の特徴である。ゲーム等の楽しい活動を通じて英語を身に付けている様子も分かり，導入段階としてはこれを中学年，高学年と進む中でどのように維持していくかが課題になっていくことが考えられる。

しかし，「楽しくない」と回答している児童も6%いる。その理由としては，英語に対する苦手意識があることが大きい，「面倒」という回答もあり，消極的な姿勢をもつ児童に対するアプローチの仕方も考えつつ授業を構成する必要がある。

《中学年》

校名	年度	とても楽しい	楽しい	少しだけ楽しい	楽しくない
亦楽小	令3	63%	33%	4%	0%
		96%		4%	
	令4	44%	44%	12%	0%
		88%		12%	
	令5	39%	46%	13%	2%
		85%		15%	
3年間平均		90%		10%	
松ヶ浜小	令3	56%	37%	8%	0%
		93%		8%	
	令4	74%	20%	6%	0%
		94%		6%	
	令5	40%	47%	8%	5%
		87%		13%	
3年間平均		91%		9%	
汐見小	令3	53%	35%	11%	1%
		88%		12%	
	令4	55%	31%	10%	4%
		86%		14%	
	令5	42%	42%	14%	2%
		84%		16%	
3年間平均		86%		14%	

【踏み込んだ聞き取り，記述による回答】

[楽しい理由]

- ・インタビューゲームで，友達に質問したり，自分が質問されたりするのが楽しいから。
- ・いろいろな英語を覚えられるのが楽しかったから。
- ・アメリカのことをあまり知らなかったけど，いろいろなことが知れて楽しかった。
- ・テンポよく次々と進んでいくから。
- ・友達の好きなものも知れるし，ゲームで英語に詳しくなれるから楽しい。
- ・先生がいろいろなゲームを考えてくれるから楽しい。
- ・友達と一緒にだと緊張しないで話せるから。
- ・友達と英語で会話するのが楽しい ・外国の言葉を覚えるのが楽しい
- ・ALTの先生と一緒に勉強するのが楽しい ・外国のことが知れて楽しい。
- ・授業が難しくないから，話すのが楽しい ・ALTの先生の反応が面白いから
- ・ゲームの種類が豊富で面白い。 ・いろいろなことが知れて，覚えるのが楽しい。
- ・友達同士で話すと，話が弾んで楽しい。 ・英語が好き

- ・友達と一緒にできる。コミュニケーションが楽しい。
- ・外国の文化や、日本と違うことを知れる。 ・キャメロン先生とのゲームが楽しい。
- ・いろいろなことを英語で話せる。 ・もし自分が外国に行ったときに話せる。
- ・友達の得意なことを英語で知れる。 ・仲良くなれる。 ・外国が好き。
- ・書くのが好きで、パソコンも使えるようになる。 ・聞くとうれしい気持ちになる。
- ・アルファベットを書きたい。 ・自分の意見を発表するのが楽しい。
- ・特別な授業だから。 ・文章を読んだり書いたりする。
- ・いつか役に立つと思うと楽しく感じる。 ・友達を褒めるといい気持ちになる。
- ・分からない英語を教えてくれる。 ・シンプルな内容で分かりやすい。

[楽しくない理由]

- ・英語を覚えにくいから。 ・難しいから。 ・何を言っているのか分からない時があるから。
- ・英語を話せないから。 ・一人になるのが嫌。
- ・喋れない，覚えられない，分からない。

【中学年のまとめ】

インタビューやゲーム，会話等英語そのものを楽しんでいる様子が見て取れる。ただし、「とても楽しい」+「楽しい」を合わせた全体としては大きな変化ではないが、「とても楽しい」と「楽しい」の割合が拮抗してきている。中学年になって，ゲームや会話を楽しんだりするだけでなく，徐々に難しさを感じ始めていることが考えられる。全体としては，英語をコミュニケーションツールとして使って，ALT や仲間とコミュニケーションする喜び，英語コミュニケーションの授業を通して外国の言語や文化を知ることの喜びを感じている。

楽しくない理由には「覚えなければいけない」「正確に話さなければいけない」という思いの強さがあるようである。「明るく，楽しく，おもしろく」という意識をもっともともたせていく必要がある。

《高学年》

校名	年度	とても楽しい	楽しい	少しだけ楽しい	楽しくない
亦楽小	令3	43%	47%	10%	0%
		90%		10%	
	令4	50%	35%	15%	0%
		85%		15%	
	令5	40%	58%	2%	0%
		98%		2%	
3年間平均		91%		9%	
松ヶ浜小	令3	40%	56%	4%	0%
		96%		4%	
	令4	62%	31%	7%	0%
		93%		7%	
	令5	38%	54%	7%	1%
		92%		8%	
3年間平均		87%		13%	
汐見小	令3	61%	34%	5%	0%
		95%		5%	
	令4	63%	30%	7%	0%
		93%		7%	
	令5	46%	43%	9%	2%
		89%		11%	
3年間平均		92%		8%	

【踏み込んだ聞き取り，記述による回答】

[楽しい理由]

- ・英語が面白いから。ALTの先生と話すのも楽しいから。
- ・英語を書いてその文を読んだりして色々な英語が学べるから。
- ・友達と英語で自分の意見を言うことが少しずつ得意になってきたから。
- ・友達同士で話すのも楽しいし，外国のことを知るのもこんなことをしてるんだなとわかるから。
- ・友達についてもっと多くのことを知れて，もっと仲良くなれた感じがするから。
- ・ALTの先生が楽しい遊びやわかりやすく英語を教えてくれるから。
- ・友達同士でお互いに好きなものを伝え合ったり，遊びながら覚えたりできるから。
- ・学校が楽しいから英語も楽しい
- ・みんなと英語で話したり，みんなの前で発表したりできて達成感があるから。
- ・自分がどんどん話せるようになっていくのが分かって楽しい。
- ・みんなでワイワイして先生も楽しそうで自分も楽しく勉強できるから。

- ・覚えた英語を書けるようになって楽しい。 ・自分が英語を好きだから。得意だから。
- ・ゲームも面白くて、英語を覚えられるから。 ・英語で話せるから。
- ・友達同士で、英語で話したりできるから楽しい。
- ・外国の文化に興味があるから。字を書いたり絵を描いたりするのが好きだから。
- ・みんなで仲良く英語を学べるから。 ・英語を覚えるのが好きだから。
- ・分かりやすく教えてくれたり、それをゲームでやったりすること。
- ・みんなで仲良く、英語を学べるから。 ・英語が上手になるから。
- ・分かりやすく教えてくれたり、ゲームで学べたりするから。
- ・英語が好きだから。・塾ではあまりやらないゲームなどをやるから。
- ・英語でゲームをするから少し難しいけど、友達とやるから楽しい。
- ・知らない英語を知ったり、友達のことをいろいろ知ったりすることができるから。
- ・他の言語を知ることにつながるし、スペイン語が好きになった。
- ・アメリカの言葉や「この日本語は英語で何て言うのだろうか?」という言葉がわかるから。
- ・英語で話すと、日本語と違って面白みが出るから。
- ・授業なのにゲームをしたり、友達と話したりするのが楽しい。
- ・いろいろなことを知れるし楽しいから。
- ・復習みたいで楽しいし、覚えやすいやり方だから。
- ・友達と一緒に話をしたりして、仲良くなれるから。
- ・本物の英語を使えると楽しいから。
- ・英語は日本語と全く違うのもあるし、ほとんど同じ言葉があるから面白い。
- ・友達の好きなことや好きなものを聞けたり、英語でたくさんお話ししたりできるから。
- ・英語について興味があるので外国のことや、英語のいい方などについて学べるから。
- ・英語の先生にいろいろな英語を教えてもらって、みんなに発表して、みんなの発表を聞いて勉強ができるから。
- ・ALTの先生について詳しく知れたり、友達とのコミュニケーションでたくさん知れたりしたから。
- ・ゲームを通して、いろいろな人と活動ができるから。
- ・友達などと、英語のゲームでじゃんけんカードを増やしたりするのが楽しいから。
- ・本物の外国の人と一緒に勉強ができるから。
- ・ゲームをしながら楽しく学ぶことができるから。特に、カルタなどで遊ぶ学習が楽しい。
- ・外国のことを知ることによって他の国の人達と仲良くできると思うから。仲良くなったら、日本の面白いことや楽しいことを教えてあげたいから。
- ・家で英語を話す機会があまりないから。 ・日本ではないことを学べるから。
- ・将来は英語をペラペラ話したくて、その夢に向かって進んでると思うと楽しいから。
- ・英語を国語や算数のように勉強するのではなく、ゲームのように楽しく学べるから。
- ・少しずつ英語を知る、書くことができるようになっていくから。
- ・発音が難しいけど、ALTの先生と英語を活用して遊んだりするのは、とても楽しい。
- ・分からないところがあっても、先生や友達が優しく教えてくれるので、英語が苦手でも楽しめる。
- ・英語コミュニケーションならではの楽しさがあり、英語コミュニケーションがある日は嬉

しい。

- ・普通の静かな授業じゃなく、ゲームや友達とのコミュニケーションも取ってくれて、他にも音程に合わせて英語を言ったりしているから、自然と暗記できるし、楽しいから。
- ・英語をすることは楽しいし、英会話も話していて楽しい。ゲームをしたり、アルファベットを書いたりするのが楽しい。
- ・英語はそんなにやらないのでできて嬉しいです。それに詳しく教えてくれるので英検合格しました。だからとても楽しいです。
- ・色々なゲームがあるから、とても楽しいし、英語をしゃべられるようになるから。
- ・英語で人前に立って発表することが去年よりもうまくなっていた。
- ・友達と英語で会話するのが楽しい。そして、他の国のことを知れるのはためになるし個人的に他国に興味があるのでとても楽しい。
- ・英語の発音を知ったりできるから。
- ・英語の文化とかも知れて楽しいし、友達といっしょに学ぶとより楽しく英語が学べるから。英検をこれからも受けようと思う。
- ・ケビン先生などは、みんなが苦手な発音のときみんながわかるまで発音を何回も言ってくれるから楽しい。
- ・外国の何かにふれるだけでも、ちょー楽しい！ Happy！英検合格してから自信が付いた。もっとやりたい！
- ・友達や先生とふだんあまり話さない英語で交流するのが楽しい。
- ・友達と英語を話したり聞いたりし合ったら英語がうまくなった。
- ・伝言ゲームが楽しかった。英検を勉強したりしたら他の英語のことが分かる。

[楽しくない理由]

- ・何を言っているのか分からないから。 ・文字を書くのがめんどくさい。
- ・難しい。上手く言えない。
- ・英語が覚えられない、上手に話すことができない。ゲームなどの説明もよく分からなく楽しめない。英語何か発表するとき、よく分からなくて恥ずかしくて、嫌な気持ちになる。

【高学年のまとめ】

「とても楽しい」＋「楽しい」でほぼ90%の割合となっている。中学年でいったん少し下がったのが再び上がってきていることから、積み重ねてきたことが生かされていること、発達段階に応じた興味関心に合わせた授業が行われていること、英語でのコミュニケーションの有用性を児童が感じ、理解し始めていることが考えられる。それは、ALTの進める授業の雰囲気が良いことと授業技術が高いことも一因となっている。

設問2 英語コミュニケーションで「楽しかった」と感じる活動は、どんな活動ですか。

※複数回答

要素	活動内容		亦小	松小	汐小	
聞く	1 外国人の先生と本物の英語であいさつしたり、話したり、聞いたりする活動	低	R4	61%	54%	63%
			R5	71%	56%	59%
		中	R4	41%	47%	34%
			R5	33%	45%	33%
		高	R4	48%	38%	40%
			R5	42%	34%	43%
話す	2 友達同士で英語を使ってあいさつしたり、話したり、聞いたりし、「good job」などの言葉で友達のよいところを伝え合う活動	低	R4	48%	38%	40%
			R5	71%	58%	59%
		中	R4	36%	70%	49%
			R5	41%	58%	46%
		高	R4	64%	57%	65%
			R5	68%	51%	58%
聞く 読む	3 外国人の先生と英語のゲームなどで、数字や色の言い方、ものの言い方（果物やスポーツなど）を知る活動	低	R4	72%	84%	79%
			R5	85%	78%	82%
		中	R4	59%	64%	72%
			R5	53%	70%	62%
		高	R4	62%	60%	75%
			R5	50%	43%	69%
	4 友達どうして英語のゲームなど数字や色の言い方やものの言い方（果物やスポーツなど）を知る活動	低	R4	70%	84%	77%
			R5	71%	65%	67%
		中	R4	54%	87%	78%
			R5	53%	71%	66%
		高	R4	70%	74%	84%
			R5	68%	60%	78%
5 外国のことを知る活動	低	R4	69%	58%	37%	
		R5	67%	68%	84%	
	中	R4	21%	50%	54%	
		R5	29%	46%	47%	
	高	R4	34%	62%	42%	
		R5	50%	47%	55%	
書く	6 英語の文字（アルファベット）を書いたり読んだりする活動	低	R4	—	—	—
			R5	—	—	—
		中	R4	28%	50%	42%
			R5	22%	36%	37%
		高	R4	31%	49%	36%
			R5			

		R5	32%	27%	40%
--	--	----	-----	-----	-----

設問3 英語を使ってもっとできるようになりたいことはありますか。 ※複数回答

領 域			亦小	松小	汐小
1 英語で話せるようになりたい。 【話すこと】(発表)	低	R4	75%	96%	87%
		R5	79%	61%	79%
	中	R4	86%	82%	73%
		R5	77%	85%	75%
	高	R4	79%	87%	78%
		R5	80%	86%	80%
2 英語で簡単な意見発表ができるようになりたい。 【話すこと】(やりとり)	低	R4	56%	56%	43%
		R5	56%	28%	43%
	中	R4	37%	47%	46%
		R5	33%	38%	35%
	高	R4	45%	45%	34%
		R5	46%	34%	37%
3 英語を聞き取れるようになりたい。 【聞くこと】	低	R4	68%	84%	75%
		R5	83%	36%	76%
	中	R4	57%	74%	76%
		R5	66%	73%	64%
	高	R4	68%	76%	72%
		R5	84%	69%	77%
4 英語の文を書くことができるようになりたい。 【書くこと】	低	R4	74%	56%	70%
		R5	80%	65%	79%
	中	R4	48%	67%	69%
		R5	44%	56%	51%
	高	R4	60%	60%	58%
		R5	68%	59%	58%
5 英語の簡単な物語や漫画などが読めるようになりたい。【読むこと】	低	R4	70%	84%	63%
		R5	68%	71%	72%
	中	R4	41%	60%	53%
		R5	40%	48%	41%
	高	R4	45%	41%	62%
		R5	46%	36%	47%

II 保護者調査

設問

《亦小》 お子さんにとって英語コミュニケーションは楽しい取組である。

《松小》 お子さんが1年生から英語コミュニケーションの学習に取り組むことは有意義だと思う。

《汐小》 お子さんは、英語コミュニケーションの授業を楽しんでいる。

学校名	年度	とてもそう思う	そう思う	思わない	まったく思わない	無回答
亦小	令和4	41%	49%	8%	2%	0%
	令和5	42%	46%	12%	0%	0%
松小	令和4	79%	19%	1%	0%	1%
	令和5	77%	17%	2%	1%	2%
汐小	令和4	47%	40%	12%	1%	0%
	令和5	23%	44%	26%	7%	0%

◎学校によって多少の設問の違いはあるが、総じて英語コミュニケーションに対して好意的に受け止め、理解しているといえる。しかし、マイナス評価や無回答（「わからない」「無関心」）が少しずつ増えている傾向も見られる。成果をより積極的に発信していく必要がある。

III 結果の総括

令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行したことでほぼ通常通りの授業にもどっている。そのため、英語コミュニケーションの授業も活動制限がなくなっている。ただし、着用は任意となったが、インフルエンザ等も含めた感染症の状況によってはマスク着用者が増えるなどまだ完全な形で元通りになっているわけではない。

そのような中でも授業のクオリティは保たれている。「明るく 楽しく 面白い」というキャッチフレーズどおり児童の意欲は高い水準を維持している。中学年になると、やや中だるみとも言えるような数字になっているように見えるが、それが高学年になると再び回復基調となっていく。やはり、低学年から積み重ねていることの成果は大きいと感じる。

踏み込んだ聞き取りや記述からは、児童が英語を話すことに楽しさとともに、英語を通して新しい知識を得ること、英語を通して友達とコミュニケーションをとってお互いの新たな面を発見したりすることに喜びを見出しているのがわかる。英語コミュニケーションのねらいとするものが、児童に確実に伝わっている。

今後、書くこと、語彙や簡単な文法などを課題としていくときに、どれだけこの意欲を維持していけるのかということは大きな課題になると思われるが、英語コミュニケーションの趣旨を生かしながら指導を継続することで、より高い効果が得られるようにしていきたい。

以下、児童が英語コミュニケーションの何に喜びを感じ、何を期待しているのかをまとめた。

○：児童の実態 ◇：教師の実態

① アクティビティの内容の工夫

○ゲームの楽しさ→ゲームを通じた英語の楽しさ→英語を使ったコミュニケーションの楽しさ、新しい知識を得る喜びなど低中高学年と進む中で英語コミュニケーションを楽しみと思う内容が変化してきている児童も見られる。

◇1時間の学び→単元全体の学び→6年間の学びという縦の系列を生かしていくことを意識した取り組みができた。

② ALTや友達との良好な関係の構築

○英語で自分の思いを伝え合う活動を通し、児童は客観的に自分自身を捉えること、相手のことを知ること、外国の文化を知ることを楽しさを感じている。

◇ALTがトピックとして様々な年中行事等を授業で扱うことで、児童の興味関心を喚起することができた。

◇新しいALTには経験の豊富なALTの授業を参観させるなど、どのように育てていくかを意識して授業を行った。

③ 4技能5領域を意識した活動

○これまで取り組んできた、「話す」「聞く」活動の積み上げに加え、「書く」活動や「読む」活動を継続して取り組んできた。このことは児童にとっては大きな負荷になりかねないが、提示の仕方や量を工夫することでスキルアップへの意欲につながっている児童も増えてきた。。

◇取組を重ねることで生まれた学年単位でのレベルアップができている反面、「書く」「読む」が難しいという感じる児童がでてきている。その苦手感や拒否感を軽減しつつどう授業づくりを行っていくか、それを考え続けしていく必要がある。

④ 肯定的な自己像の形成

○ゲームが楽しいということのみならず、英語を話すことそのものに肯定的な考えをもっていることで英語が身に付きやすい下地ができています。間違いを恐れなくても良い雰囲気づくりをALTと担任が工夫していることで、恥ずかしがることなく自分の良さや相手の良さに気付けることにつながり、その喜びや楽しさを感じている。

◇常日頃の学級の雰囲気づくりを心掛け、それを土台とした英語を用いたコミュニケーションの楽しさが相乗効果となって、自己肯定感を高める時間となっている。

◇振り返りの時間に感想に加え思考的要素(Why～? Because～.)を取り入れ、学習のねらいを意識したことで、充実した学びにつながった。そのことで少しずつ進歩している自分の姿を感じることができている。

本調査結果を、各学校各学級の児童が、どんな思いをもって英語コミュニケーション科の授業に臨んでいるのかを再認識し、児童の姿から今後の授業を考えていく一つの資料とする。

〈令和6年度の英語コミュニケーション科の授業で大切にしたいこと〉

○「明るく、楽しく、面白く」と「豊富な会話量の確保」

外国語が楽しい理由として「テンポよく次々と進んでいくから」という理由をあげていた児童がいた。たくさん聞いたり話したりすることを楽しいと感じている児童も多い。「明るく、楽しく、面白く」という考えで「英語をシャワーのように浴びせ」かつ「豊富な発話量を確保」する授業を意識し続けることで、基礎的なコミュニケーションができるようにする。

○英語の日常化

日常生活の中に英語コミュニケーション活動を意図的に取り入れる。朝の健康観察，1日のスケジュール発表，委員会活動での英語放送，下校の放送，校内の掲示物に英語表記を増やすことを今後も続けていく。

○英語科4技能5領域を意識した指導

改めて年間計画の考え方を共通理解していく。特に高学年においての「書く」「読む」の指導の方向性を示していくことで興味関心を高める。自分の英語力を計る一つの目安としての英検の位置付けを意識させていくことも必要となってくるかもしれない。そのことが英語に向かう意識の向上につながっている部分もある。

「書くこと」に難しさを感じる児童も多いので、アルファベットに触れる学習を意識的に行っていく。

○英語を通したコミュニケーション力の育成

多くの英語に触れることで、英語を通したコミュニケーションに慣れていく。発音などが正確でなくてはならない、間違えたら恥ずかしいという思いを減らすためにたくさんのトライ&エラーの経験をさせることが大切である。一定数いる「苦手意識」をもつ児童についても、教室で友達が活動する様子にたくさん触れさせることで慣れさせていくことを根気強く続けていく。同時に、定型の会話のやり取りを応用して自分なりに組み立てて話せる児童の育成も図っていききたい。

○夢を持たせる単元の設定（異文化理解とICT活用）

ハロウィン、クリスマスなどの行事に興味を示す児童は多い。日本に定着しているものであっても、日本でのものとは意味付けが異なっていることが児童の興味関心につながっている。これらのことを通して、異文化理解につなげ、プレゼンテーションやグループディスカッション等、話し合い活動に取り組みさせるきっかけとしていく。その際のICT機器の活用はととも効果的である。

また、将来英語を使う仕事にと考える児童もいる。そういった目的意識をできるだけクラス内で共有しつつ進めていくことも考えていくと良い。

○「自分はALTとこんな授業を創る」というアイデンティティーの確立

ALTとの同僚性・協働性といった良好な関係性を築き保つ。また、児童とALTの関係をより良好なものとし、授業者としての存在感を高める。新しく赴任したALTについては同じALTはもちろん担任と授業の基本案を作成したりすることを通して指導力の育成をしていく。

小中学校間で授業を公開し、英語コミュニケーション科の授業を考える一つの機会とする。

